



新潟大学  
旭町学術資料展示館  
Niigata University Asahimachi Museum



Folk  
Implements  
of Yamakoshi

# 甦る 山古志の 民具

中越地震より15年間  
240名の学生と教職員により  
整理された2000件余りの民具から



2021  
9/18<sub>(sat)</sub> ~ 10/24<sub>(sun)</sub>

主催 新潟大学旭町学術資料展示館 後援 長岡市教育委員会

# 甦る

# 山古志の

# 民具

2021  
9/18 ~ 10/24

旧山古志村民俗資料館は、廃校となった池谷小学校第二校舎を利用して、主として山古志地域で収集

された多くの民具を保管し展示してきました。これらの民具には山古志地域で営まれてきた特色ある生活の歴史が刻み込まれています。しかし、資料館は平成16年(2004)10月23日に起きた中越地震で被災し、建物にも倒壊の危険が生じました。そのため、翌年5月に新潟歴史資料救済ネットワークの呼びかけで集まった人々によって、収蔵資料のほとんどが資料館から搬出されました。資料館の資料には地震の被災資料としての歴史も刻み込まれたといえます。

被災した民具については、新潟大学、長岡市立科学博物館、長岡市山古志支所の連携のもと、新潟大学の博物館実習の一環として平成17年(2005)から令和元年(2019)まで整理作業が行われ、2080件の民具の資料台帳が新たに作成されました。山古志の民具は、再び民俗資料として甦ったのです。この整理作業には総計240名の学生たちが参加しました。

今回の展示では、整理が終了した民具の中から生業に関わる資料の一部を展示し、山古志地域で育まれてきた生活文化の一端を紹介いたします。



作成された2080件の資料台帳より資料データと手描きのスケッチからなる

かつて二十村と呼ばれた山古志地域は、その名の通り山間の緩い傾斜地に集落が点在し、山に囲まれた暮らしが営まれてきました。冬になれば深い雪に覆われる豪雪地帯でもありません。斜面に造られた棚田での稲作や畑での耕作のほか、養蚕や芋績み、山稼ぎが行われてきました。特産の錦鯉や国の重要無形民俗文化財に指定された牛の角突きも、こうした山間での生活の中から生み出されたものです。

## 稲作



山に横井戸を掘って水を引き、斜面に棚田が切り拓かれました。棚田での稲作は秋の豊作を願いつつ、春になれば雪の消える前から作業が始まります。

## 養蚕



今では姿を消してしまいましたが、江戸時代から「夏は蚕」といわれるほど養蚕が盛んに行われ、ボコサマ(蚕)の作る繭が人々の暮らしを支えてきました。

## 芋績み



カラムシ(芋麻)の繊維を手で細く裂いてつなぎ、小千谷縮などの材料となる糸にします。芋績みはカラソツナギといい、女性の大事な仕事でした。

## 養鯉



溜池や水田には食用に真鯉が放流されました。江戸時代、そこから「色鯉」と呼ばれた錦鯉が生まれ、観賞用として盛んに飼育されるようになりました。

## 牛飼



農作業にも使われた牛は、山坂で荷を運ぶのに適していて大切に飼われてきました。南部牛による角突きの行事は、仕事の合間の楽しみでもありました。



蚕籠



桑ポテ



ズリ



棚田の稲刈り



牛のサルグツワ



オモツナ



ナガテ



サデ



オウミオケ



フクベ



新潟大学  
旭町学術資料展示館  
Niigata University Asahimachi Museum

〒951-8122 新潟市中央区旭町通2番町746 TEL.025-227-2260

746 Asahimachi-dori 2-bancho Chuo-ku Niigata City

開館時間:水~日曜日10:00~12:00, 13:00~16:30

休館日:月・火曜日 入館料:無料 駐車場:5台

Opening hours: Every Wed to Sun 10:00~12:00, 13:00~16:30 / Admission free



真の強さを学ぶ。

新潟大学  
NIIGATA UNIVERSITY



www.lib.niigata-u.ac.jp/tenjikan/

リサイクル適性(A)  
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のための対策を行っています。マスクの着用等にご協力をお願いします。詳細は当館のHPをご覧ください。